

平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 八児 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成30年6～7月に、2年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思えます。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

※ [8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン・持久走、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ
※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択するため8種目となる

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

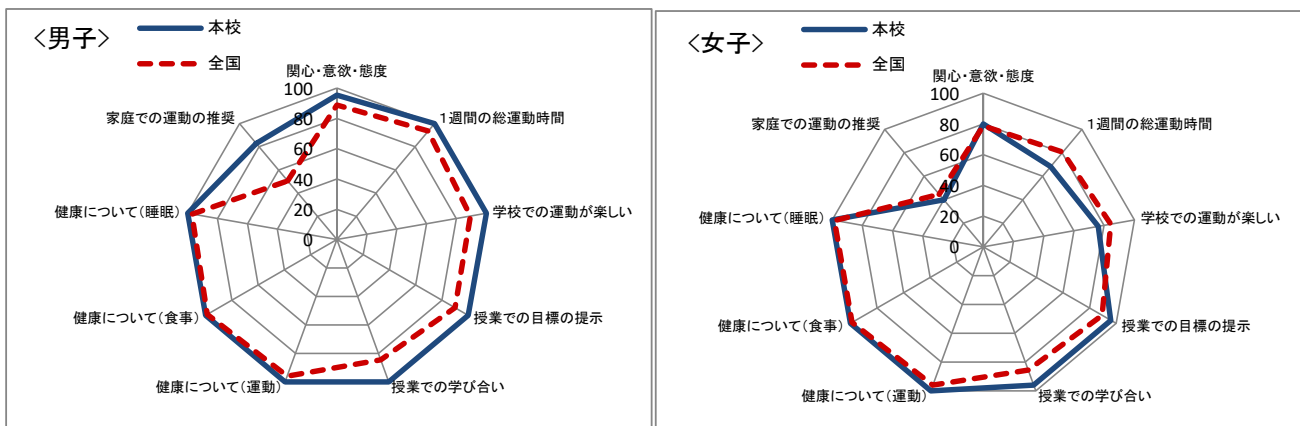
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	28.84	27.36	43.44	52.24	392.65	86.06	7.99	195.62	20.55	42.32
本市	29.96	28.56	45.76	54.26	398.34	88.17	7.81	201.18	21.22	45.36
本校全国平均以上の種目	○	○	○	○	○		○	○	○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	23.87	23.87	46.22	47.37	286.85	59.87	8.78	170.26	12.98	50.61
本市	24.43	24.41	48.63	48.43	297.70	60.39	8.70	175.80	12.96	52.53
本校全国平均以上の種目		○	○	○				○		○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

男子に関しては、全ての項目で全国平均を上回った。体を動かすことが好きな生徒が多く、積極的に運動している。また、体育の授業を楽しみにしている生徒が多く、どんなことにも果敢に挑戦する集団である。対して、女子は、「運動が楽しい」の項目で全国平均を下回った。運動が大切なことは理解しているが、実際に運動する習慣が少ないことが分かった。体を動かす楽しみを味わわせる取組を今後の課題としたい。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で)

運動が好きな生徒を増やしたり、体を動かす楽しみを体感したりする取組として、ウォーミングアップの工夫、音楽やICT機器を活用した授業に取り組んだ。また、運動が得意な生徒も苦手な生徒も達成感を味わうことができるように、自分で練習方法や場を選んで活動する授業を展開した。めあてを提示し、話し合う活動や書く活動を充実させた。保健の授業では、ICT機器を活用し、運動と健康が密接に関わっていることを理解させるよう継続して取り組んだ。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

○昼休みに外遊びの推進のため、委員会を中心に呼びかけや、幅広い運動のできる道具を準備した。
○体力向上通信を発行し、家庭で取り組むことのできる簡単な運動を実践するように呼びかけた。